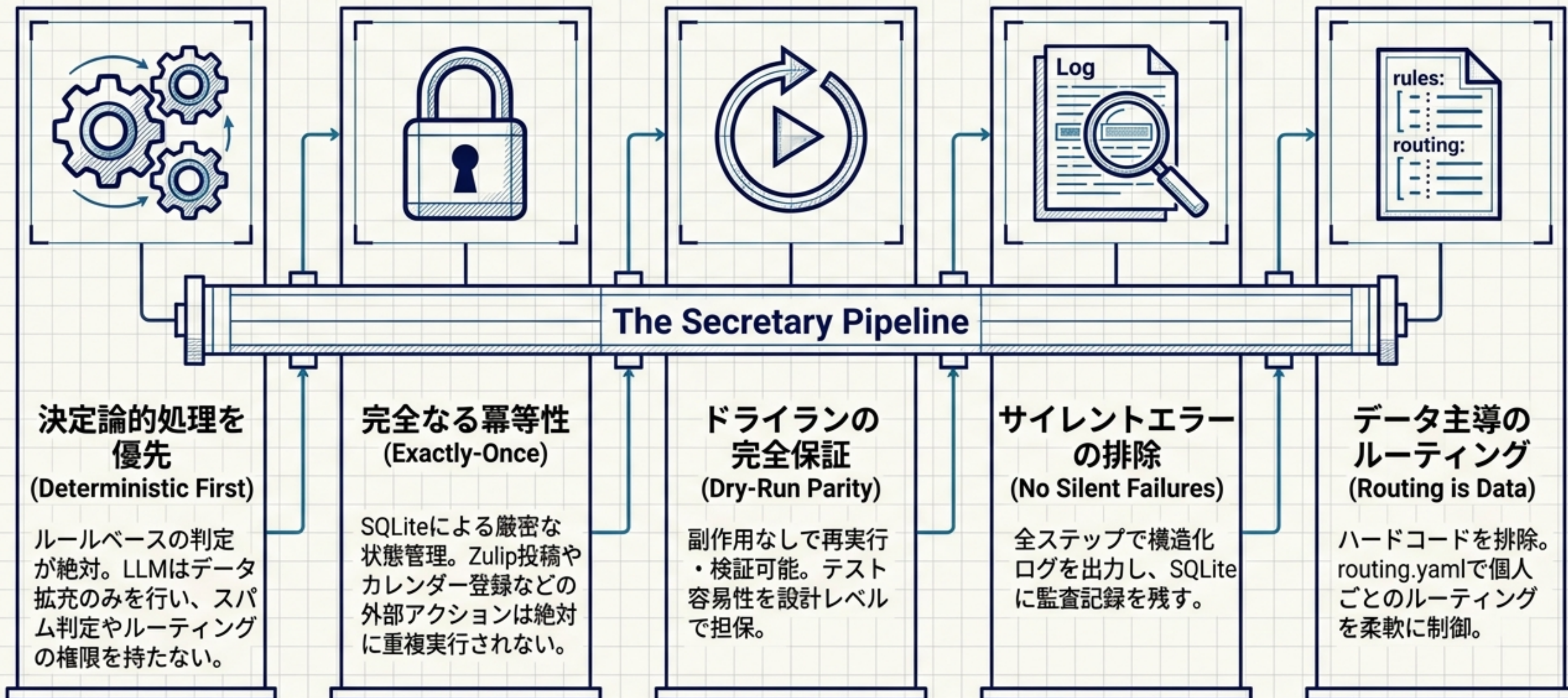


Project Secretary: Master Plan

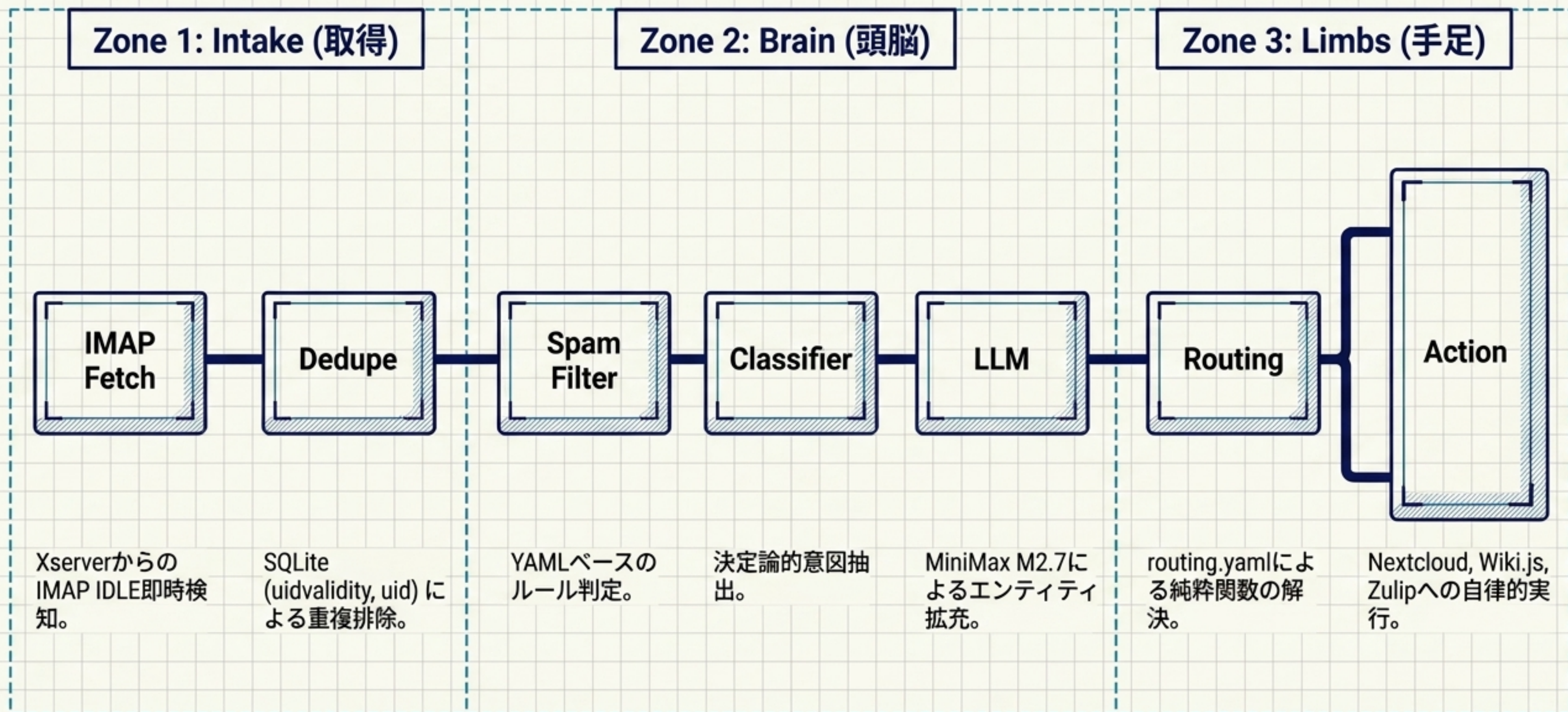
共有メールボックスから全自動の
パーソナル・セクレタリーへ

Target:	Fab Forward Members
Core Engine:	Deterministic + LLM Hybrid
Infrastructure:	Xserver / Nextcloud / Zulip / Wiki.js

堅牢性を保証する5つの設計原則



メッセージ処理のエンドツーエンド・アーキテクチャ



基盤フェーズ：確実な取得とノイズの排除

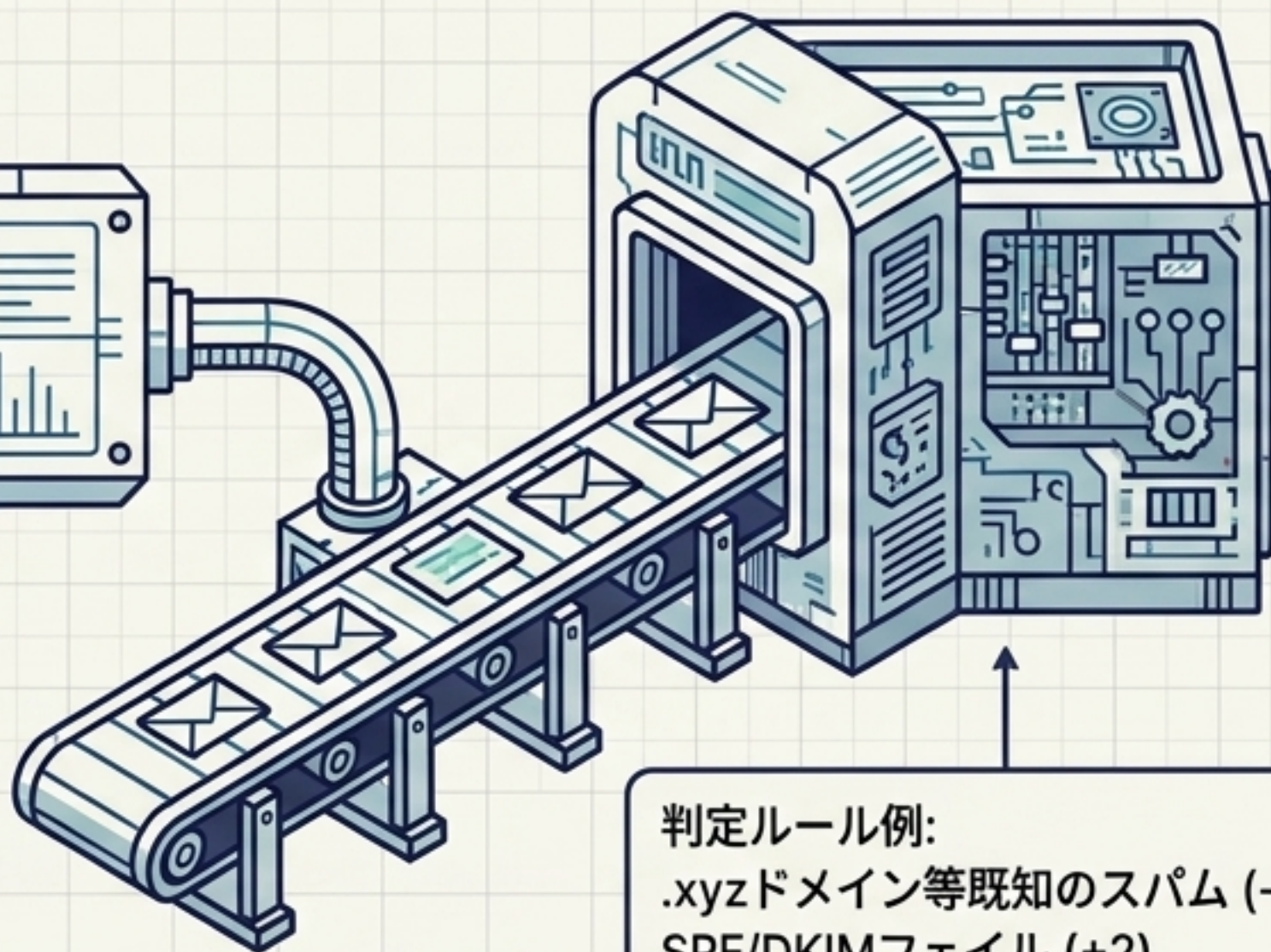
IMAP IDLE連携

最大28分間隔でセッションを自動更新し、新着メールを即時検知。



Spam Scorer (YAML Rulepack)

ホットリロード可能なスコアリングエンジン。



判定ルール例:
.xyzドメイン等既知のスパム (-)
SPF/DKIMフェイル (+2)
不審な添付ファイル拡張子 (+5)



Ham (Score < 3)

正常。パイプラインへ継続。



Suspect (Score 3~5)

処理継続。ただしZulip #ops-review チャンネルへ判定理由と共に警告通知。



Spam (Score ≥ 6)

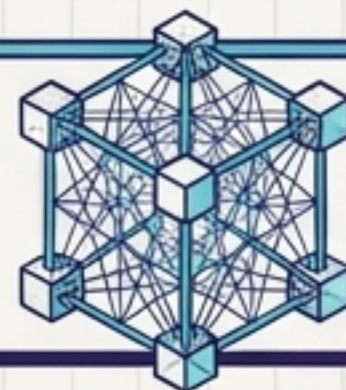
即時破棄 (Message.status='spam')。

2段構えのハイブリッド意図抽出

フェーズ1: ルールベース (Heuristics)

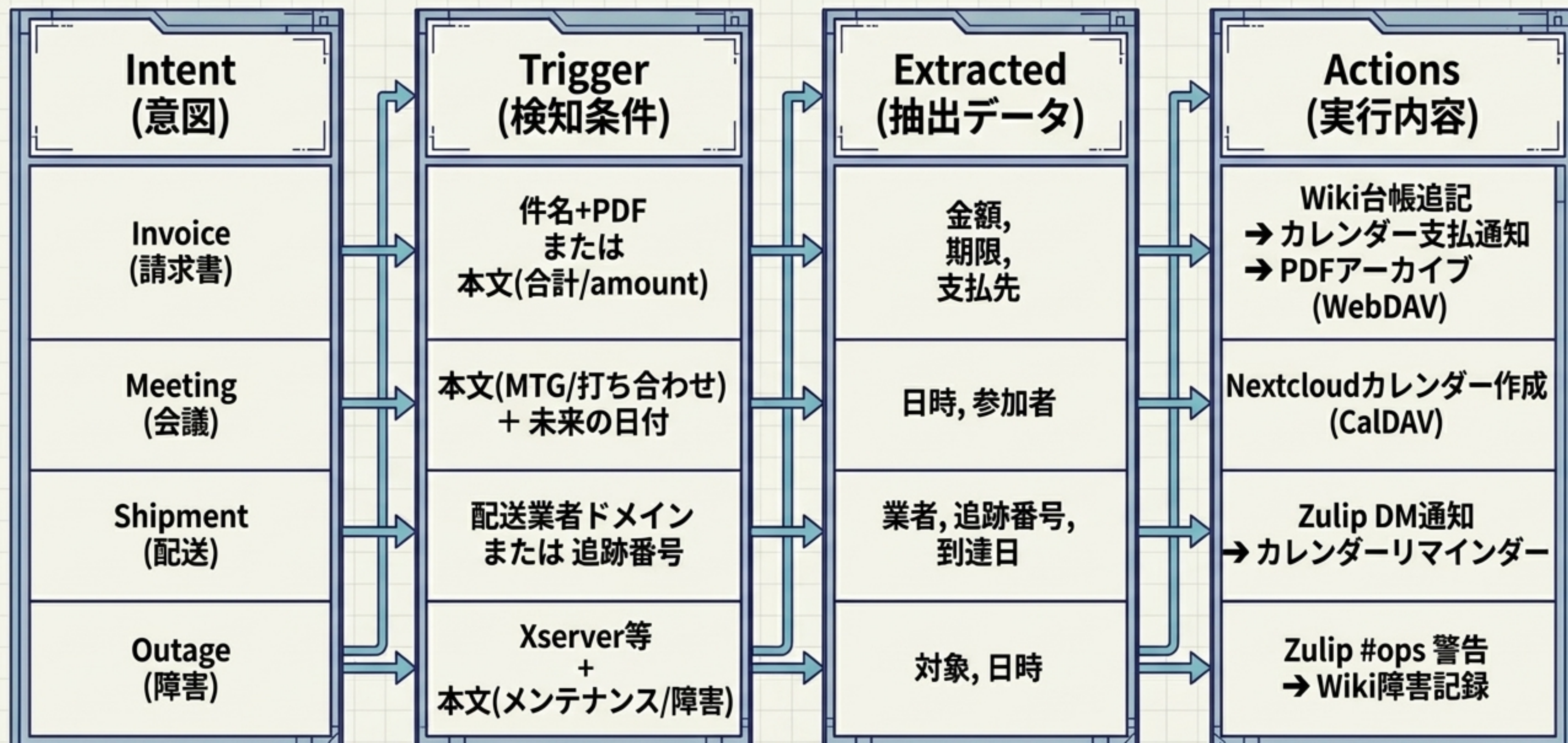


フェーズ2: LLMエンリッチメント (MiniMax M2.7)

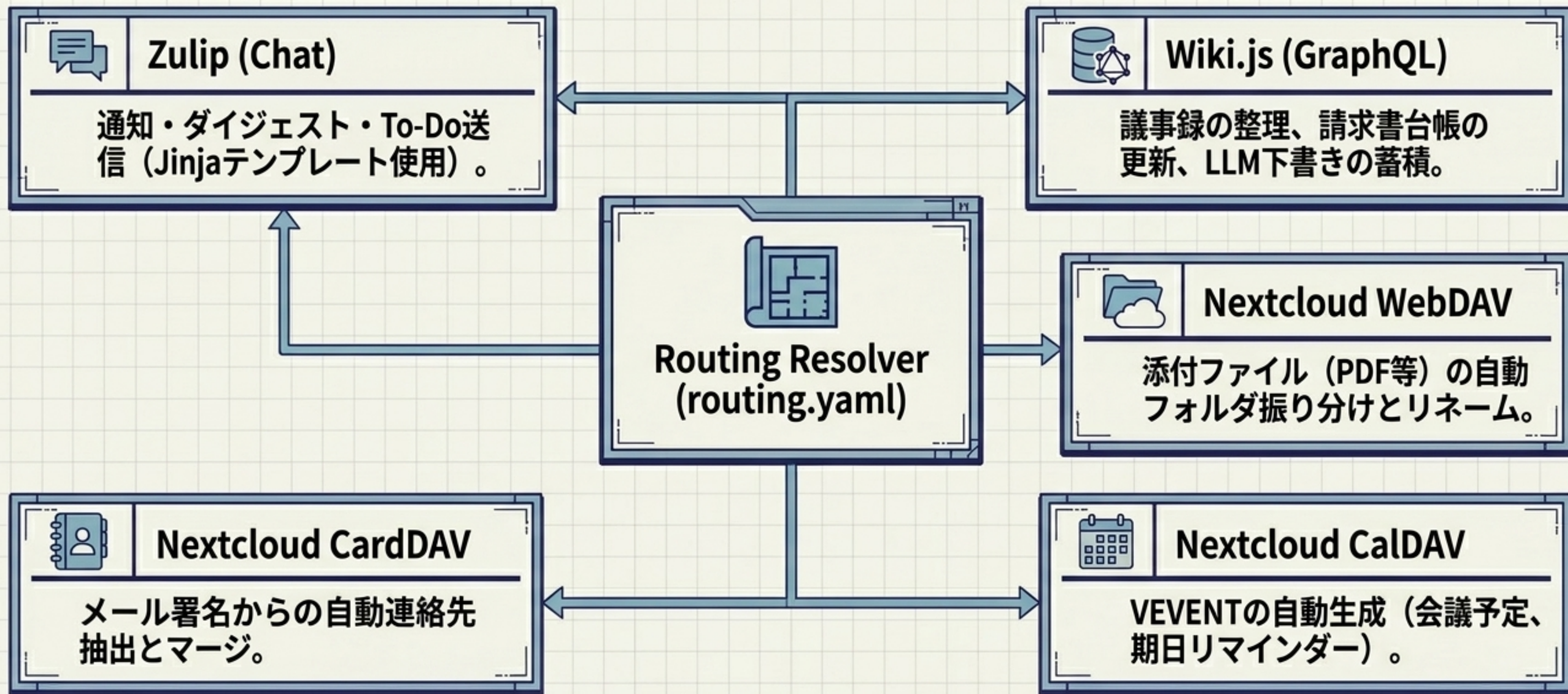


技術/手法	正規表現、ヘッダー解析、YAML設定。	技術/手法	Anthropic互換APIによる厳密なJSONスキーマ出力。
役割	メッセージの「意図 (Intent)」を決定 (複数付与可。例: meeting, invoice)。	役割	日付、金額、参加者、Todoなどの詳細な「エンティティ」の抽出と文脈理解。
絶対的権限	スパム判定や意図の決定は必ずここで行う。LLMによる上書きは不可。	制限事項	トークン上限4k。入力テキストがJSON以外の場合はスキップし、処理を継続。

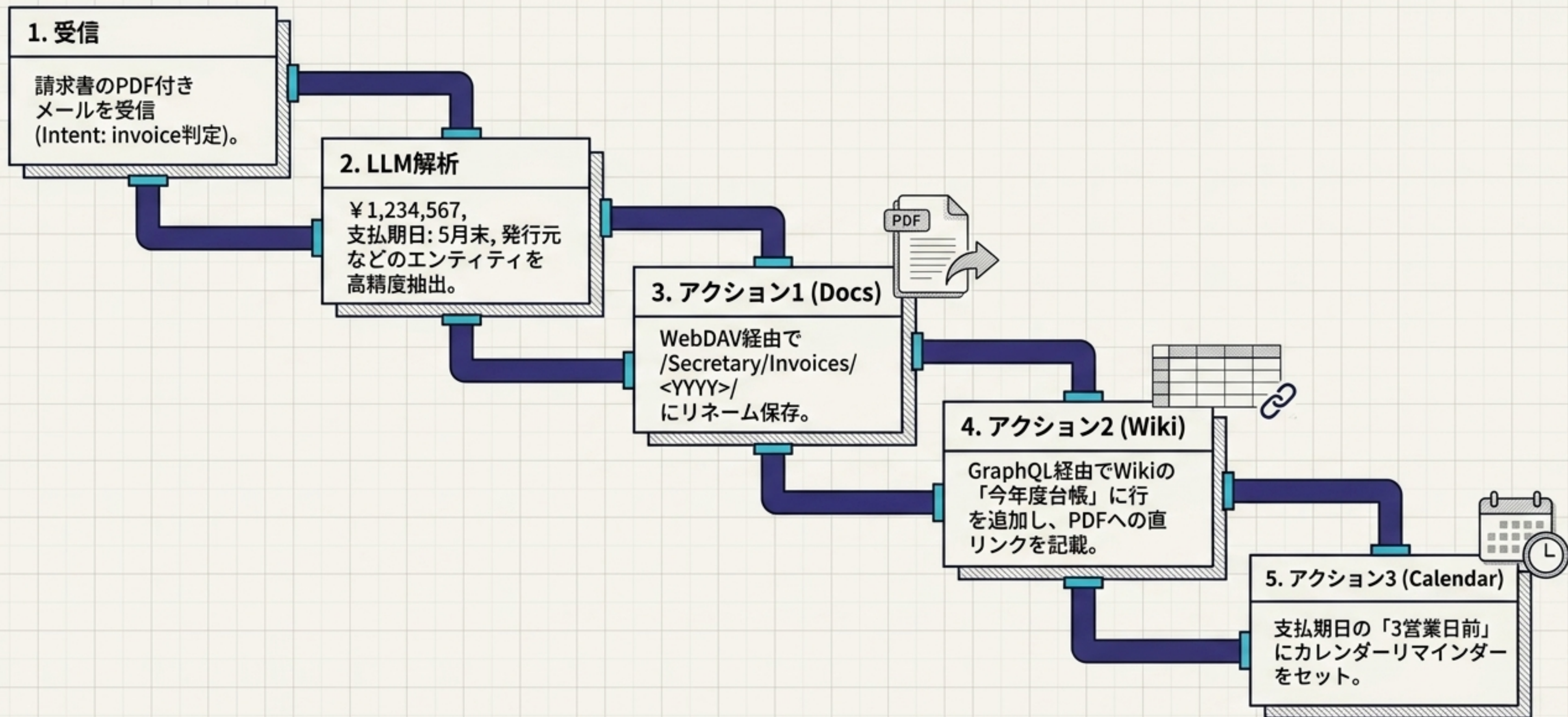
インテント（意図）とアクションのマッピング



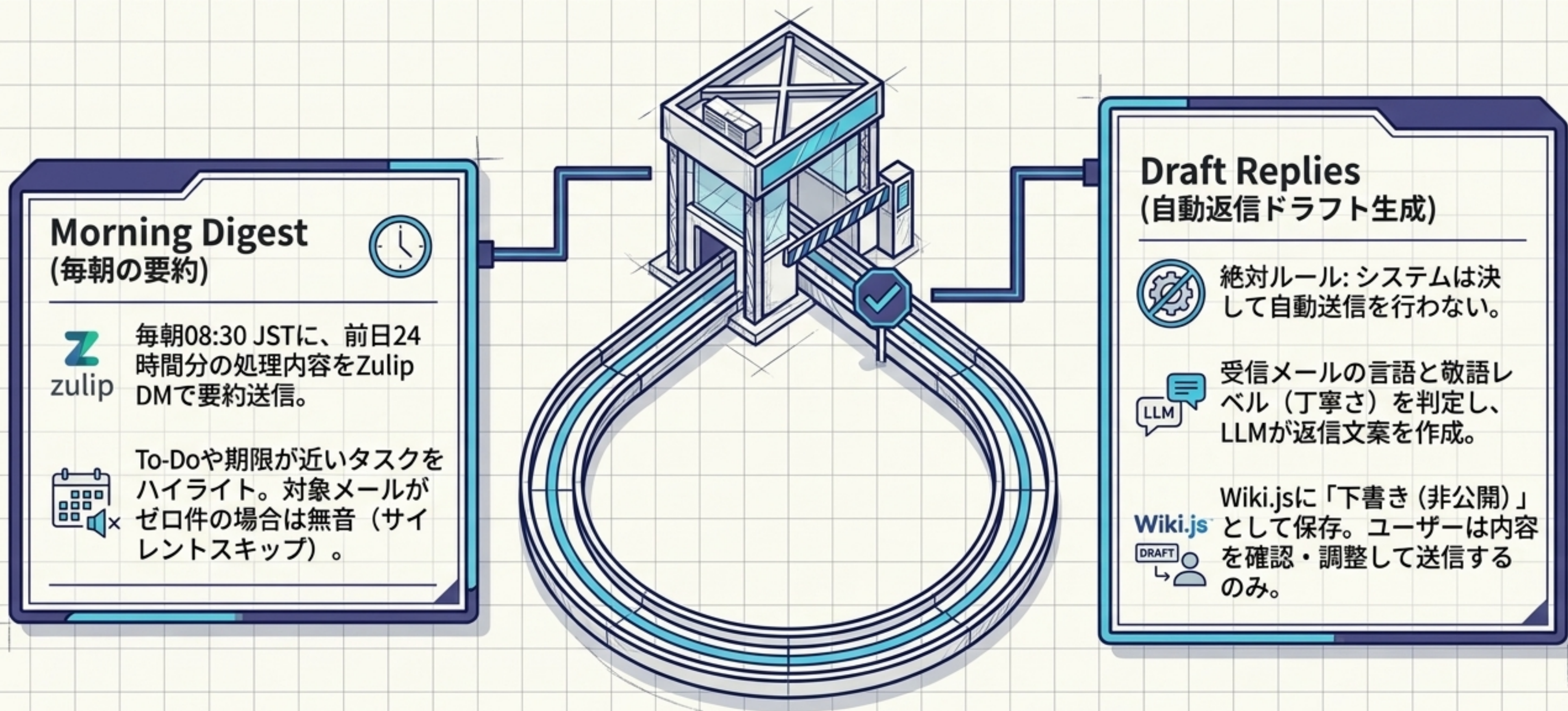
外部連携：純粋な関数から副作用への変換



ワークフロー例①：経理・バックオフィスの自動化

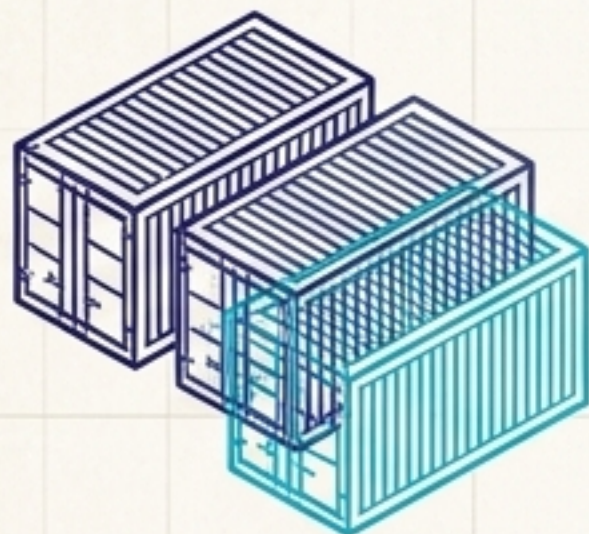


ユーザー主体のアシスト機能（非完全自動化の領域）



堅牢な運用基盤：デプロイと監視

Dockerized Environment



マルチステージビルドによる軽量化。docker-composeによる独立ネットワーク。State DB (SQLite) は名前付きボリュームで安全に永続化。

Uptime Kuma Push Monitor



IMAP IDLEの正常稼働を1分毎にPush監視。サイレントな停止 (Silent Failures) を未然に防ぐ。

Health & Metrics (ASGI Endpoint)



内部向けに /healthz と /metrics を公開。

取得メッセージ数、スパム数、LLM トークン 消費量、アクション成否をリアルタイム監視。

結論：全てのメンバーに専属の秘書を



- ☑ **ノイズの排除:** 完璧なスパムフィルタリングにより、重要な情報だけが手元に届く。
- ☑ **完全な追跡:** 請求書、タスク、会議案内。すべてを自律的に整理し、決して見落とさない。
- ☑ **スケーラブルな設計:** YAMLとルールを追加だけで、新しいインテントやアクションを容易に拡張可能。
- ☑ **データの主権確保:** 外部クラウドに依存せず、Nextcloudと自社基盤上でデータとルーティングを完全にコントロール。